

ひろし新聞 167号



2021年8月31日 発行者：県議会議員 中川 浩

コロナ 病院ひっ迫状況

8/1～26に、保健所が『入院が必要』と判断し、入院調整しても **48時間以上**入院出来なかった人は、県全体で79人。最も多かったのは23日で10人。8/16～22の1週間、さいたま市で119番通報した自宅療養者300人のうち、搬送されなかったのは（不搬送）170人。狭山市など県西部消防管内では8/1～27の自宅療養者からの通報320件中、不搬送は87件。うち**狭山市71件中、不搬送は17件**（昨年8月中の不搬送は0）との事です。医療も、救急も必死に対処されています。

埼玉県 酸素ステーションを整備

8/27の臨時県議会で、県内4か所の『酸素ステーション』整備などが決まりました。酸素ステーション4施設で60名分の『酸素濃縮器』が設置されます。9/1に上尾市内の病院内に1カ所目が開設予定。残り3か所は9月前半に体育館などの公共施設を利用し、県の東・西・北にそれぞれ開設を準備しています（狭山市などは『西』）。これは自宅療養者の搬送先が見つからず、重症化するのを防ぐ為の対策で、入院先が決まるまでの最大48時間以内を想定し、酸素投与を行う施設になります。

治療薬『抗体カクテル療法』推進を



県議会で質問



現在、コロナはワクチンと『抗体カクテル療法』という治療法で乗り切る以外にないと言われていたのですが、医療従事者からは『抗体カクテル療法』が今後どのように使えるようになるのか状況が見えない』との声があり、8/27の臨時県議会で大野知事に質問しました。

知事からの答弁は「『抗体カクテル療法』の治療に使う中和抗体薬は、発症後7日以内に投与する必要があるのに、医療機関で在庫を持つ事を国が許可しなかったため、有効に使えていませんでした。この為、必要な患者に適切なタイミングで投与する事が出来るよ

う県内に拠点となる医療機関を指定した上で、国に対して在庫配置を認めるよう強く働きかけた結果、県が選定した医療機関にあらかじめ一定数の在庫を確保する事が認められました。この在庫を持つ拠点病院は現在9医療機関で、8/16より投与しており、順次拡大していく予定です。県が選定した医療機関以外が抗体カクテル療法を行う事も可能ですが、（厚生労働省が中和抗体薬の供給を委託した製造販売業者の登録センターに発注し、医療機関に供給される仕組みなので）医療機関数は把握していません。

抗体カクテル療法の拡大に向けた課題は、中和抗体薬を投与する患者は、軽症ですが入院が必要なので、中等症以上の病床を確保している医療機関で抗体カクテル療法を行う場合、この病床を使う可能性があります。そこで、外来や在宅で行えるように、全国知事会を通じて国に強く要望し、入院治療を行う医療機関の外来での投与が可能となりました。さらに治療機会を拡大するには、病床を持たない診療所での外来での投与を可能にする事で、治療を拡大していく事が重要だと考えています。

抗体カクテル療法の入院を伴わない外来での対応は、現時点で入院施設を持っていない医療機関での抗体カクテル療法を国は認められておらず0です。《①一定数の在庫を持つ県が指定した医療機関での診療、②それ以外の医療機関が直接登録センターに発注し、製造販売業者から供給》の2つの方法があり、県は①の外来の拡大を求めているので、状況を把握していきます」との事でした。

『酸素療法・抗体カクテル療法』の県内での治療拡大

県内の宿泊療養施設を2施設増やし、15施設にします。そのうちの1施設で重症化リスクが高い患者1日最大8人に酸素療法や抗体カクテル療法を行い、この施設以外の全ての宿泊療養施設には『酸素濃縮器』10台を設置する予定です。速やかに酸素が投与できる態勢を整えると共に、投薬・点滴を行う体制を作ります。

抗体カクテル療法を今後50病院で行えるよう増やしていきます。

『酸素療法』について：県の酸素ステーションと合わせて合計18施設200名の酸素投与が病院以外で可能になります。

『抗体カクテル療法』について：宿泊療養施設の一部を『臨時の医療施設』にする事で、発症後7日以内の重症化リスクが高い患者を宿泊療養施設へ搬送します。日中は医師がおり、看護師が24時間体制で健康観察します。中和抗体薬は、1セットで2名を48時間以内に治療する規則なので薬の有効活用の為、拠点病院からの要請に応じ、患者2名を搬送・治療する仕組みも作ります。

狭山市ワクチン予約 8月31日に再開 9・10月 集団接種分

県議会議員 中川 浩 ☎090-3310-9234 hncgw@nifty.com

ひろし事務所は毎日11～4時 OPEN 狭山市中央4-25-4 FAX2936-8834

最新の『コロナ対策』など『ひろしHP』・FB毎日更新中

子育て家庭の為に 『フードバンク』 『食品・寄付金』を事務所で募集中